

# ことば村ニュース



2013年. 7月

首都圏は空梅雨気味、でも九州では大雨、そして厳しい暑さも目の前、でもそんな憂鬱は吹き飛ばして、ことばの世界で楽しみましょう。7月のサロンは聴覚障がい児に、ことばの世界を拓くヴェルボトナル法について聞きます。

## ★「ことばのサロン」

7月：「話しことばによるコミュニケーション能力の習得」

話題提供：原田英一先生（関東学園・ヴェルボトナル研究所）

日時：7月6日（土）

会場：慶應義塾大学三田キャンパス

難聴や発達の問題で、話す能力を持ちながら声の出ない子どもたちへの発声発語をうながす効果的な方法について伺います。健全な人にとっても、「ことば」へのヒントが期待できそうです。

8月は夏休み休会

9月：「琉球八重山諸島のカイダー文字について」

話題提供：マーク・ローザ先生（東京大学博士課程満期終了）

日時：9月14日（土） 会場：慶應義塾大学三田キャンパス（予定）

10月：「インドネシア・ラマホロット語について」

話題提供：長屋尚典先生（東京外国語大学）

日時：10月5日あるいは26日 会場：慶應義塾大学三田キャンパス（予定）

12月：「ラパヌイ語・ルルツ語について（予定）」

話題提供：西本希呼先生（京都大学）

日時：12月7日 会場：慶應義塾大学三田キャンパス（予定）

## ★11月16日十周年記念「ことわざフォーラム」開催

ことわざを研究する団体「ことわざ学会」との共催で、「ことわざフォーラム」を開催いたします。テーマは「ことわざと現代社会」。アフリカや朝鮮など、世界各地で伝えられ、暮らしに生きていることわざをネイティブスピーカーが報告することわざワークショップや、先人の知恵：ことわざを、現代社会のさまざまな問題解決のヒントにできないかを討議するパネルディスカッション、さらに、創作ことわざコンテストなど、楽しい企画を検討中です。どうぞお楽しみに。

## ★在日ブラジル人子弟のための副教材プロジェクト進行中

2011年11月の「ことばのサロン」は、東京女子大学の朗読グループ「ぱずる」の活動に参加して、太田の在日ブラジル人児童の母語保持教室を見学。その体験から、母語保持に役立つ副教材を作ろうという声がかことば村メンバーからあがり、そして、今年、全日本社会貢献団体機構の助成金があり、日本語・ポルトガル語対訳の童話絵本の制作を開始しました。完成した暁には、全国の在日ブラジル人母語保持教室に無償配布し、数か所には「ぱずる」メンバーが訪れて朗読活動もする予定です。

## ★ホームページ「世界の文字」ぜひご覧ください！

会員の稲垣徹さん寄稿の「世界の文字」が毎月拡充中。ぜひお楽しみください。

[http://www.chikyukotobamura.org/muse/writing\\_systems.html](http://www.chikyukotobamura.org/muse/writing_systems.html)

## ★ことば村ホームページ

<http://www.chikyukotobamura.org/>

活動は順次サイトで報告いたします。

## ★メールマガジン配信中！

毎月盛りだくさんの内容をお届けしています。

申込は—

<http://www.mag2.com/m/0000199577.html>